



気持ちを盛り上げる力

ラグビーのワールドカップ(W杯)で日本全体が盛り上がっている。私もその一人だが、日本人にはラグビーのルールをよく知らない人が多い。野球やサッカーに比べて、日本ではポピュラーなスポーツではなかったからだ。それでもW杯が日本で開催されたこと、そこで日本チームが素晴らしい成果を挙げていることで、一気に注目度が上がっている。

スポーツが経済に及ぼす影響は非常に大きい。世界中のラグビーファンが日本に観戦に集まってくる。ラグビーの試合がなければ日本に来なかつたかもしれない人た

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

ちが多く含まれている。岩手県の釜石は東日本大震災に直撃され、復興の途上にあるが、今回は当地でも試合が行われ、多くのファンが来ることで、地元も盛り上がっている。

スポーツには、なぜか人々の気持ちを盛り上げる力がある。そして、試合には多くの人が集ま

スポーツで経済活性化

つてくるし、テレビやネットを通じて多くの人が試合を観戦する。ラグビーでもそうだが、これが野球やサッカーであれば、その規模はもつと大きい。そうしたこともあり、近年は、スポーツが経済全体にどのような影響を及ぼすのかを調べる研究が増えている。日本でも日本政策投資銀行が、スポ

ーに関連の活動が経済にどの程度の貢献をしているのか調べている。

その結果によると、生産などの付加価値でスポーツ関連の活動は約6兆6千億円であり、これは日本のGDPのおおよそ1・39%となっている。雇用で見ると、約101万人の雇用に貢献しており、

これは全雇用のおおよそ1・55%である。金額や雇用人数を見ると、スポーツは経済に大きな貢献をしていることが分かる。ただ、これを例えは英国などと比べると、英国ではGDPの約2・6%、雇用では約3・6%の貢献となっているようだ。一般的に欧州の方が日本よりもスポーツ活動が盛んだと

地域性も最大限に活用

そうした意味では、来年にオリンピックやパラリンピックが日本で行われることは、大きなチャンスである。こうした機会にさまざまな競技についての関心を盛り上

げること、スポーツを通じて経済を盛り上げることが出来る。日本のような成熟した経済では、経済の中におけるサービスマン分野の重要性が増している。そうした中で、スポーツの果たす役割は非常に大きい。スポーツへの参加、観戦、グッズなどの販売だけでなく、スポーツへの参加を通じて国民の健康増進につながれば、その経済的なメリットは非常に大きいものとなる。

春夏の高校野球やサッカーのJリーグのように、スポーツには地域性が強く出る面もある。こうした地域性を最大限活用することは、地域経済活性化の起爆剤になることも期待できる。静岡の経済の中でスポーツが持つ重要性がどの程度あるのか、一度じっくり考えてみたのだろうか。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。